

【参加申請書記入項目】 \* 記入必須項目（記載例）

1. 申請者・実施体制

●企業・団体・個人名\*

朝日町お土産開発プロジェクトチーム

●住所\*

富山県下新川郡朝日町〇〇123

●WEB サイト・SNS ※ある場合

[https://instagram.com/asahimachi\\_souvenir\\_project](https://instagram.com/asahimachi_souvenir_project)

●代表者名\*

朝日 太郎

●ふりがな\*

あさひ たろう

●代表者の連絡先（メールアドレス）\*

taro.asahi@example.com

●代表者の連絡先（電話番号）\*

090-XXXX-XXXX

## 2. プロジェクト概要

### ●プロジェクトのタイトル \*

伝統の香りをアップデート！「バタバタ茶」の茶葉を丸ごと味わう新感覚お土産『バタバタ茶バターサンド』  
開発プロジェクト

### ●プロジェクト概要 \*

※本プロジェクトの目的を踏まえ、どのような取組を行いたいのか可能な限り具体的にご記入ください。

朝日町の特産である後発酵茶「バタバタ茶」は、独特の風味と歴史を持つ素晴らしい文化ですが、急須や茶笥を用いた「飲む」スタイルは、若い世代や観光客にとってややハードルが高いという課題があります。そこで、発酵茶特有の酸味と香ばしさを活かした微粉末加工を行い、濃厚なバタークリームと合わせた『バタバタ茶バターサンド』を開発します。茶葉を「食べる」という新しいアプローチで、朝日町の歴史と魅力を手軽に持ち帰れる看板土産を創出します。

### ●プロジェクトを持続的・発展的に取り組むための工夫 \*

※応募いただくプロジェクトを持続的・発展的に取り組むために実施する工夫を可能な限り具体的にご記入ください。

地元の「バタバタ茶伝承会」等と連携し、製造過程で出る規格外の茶葉や粉茶を適正価格で継続的に買い取る仕組みを構築します。これにより、高齢化が進む生産者の新たな収益源を確保し、伝統茶の生産継続を後押しするエコシステム（循環）を作ります。また、製造は町内の菓子店に委託し、町内での経済循環を生み出します。

### ●プロジェクトを完遂するための工夫 \*

※応募いただくプロジェクトを完遂するための工夫（体制や仕組みなど）を可能な限り具体的にご記入ください。

各分野の専門家による強力なチーム体制を構築しています。代表者（全体統括・販路開拓）を中心に、町内の若手パティシエ（レシピ開発・製造）、地元の茶葉生産者（原料提供・監修）、デザイナー（パッケージ制作）の4名体制で進行します。月に2回の試食・定例会議を実施し、味のクオリティと進捗を厳格に管理する体制を整えています。

●想定されるアウトカム \*

※応募いただくプロジェクトによって得られる成果や効果（定量・定性）の想定をご記入ください。

- **定量的な成果:** 2027年2月までに完成品を初回ロット1,000個製造し、ヒスイ海岸周辺の観光施設や道の駅など町内3箇所での販売を開始する。
- **定性的な成果:** トレンド感のある「バターサンド」という形態とSNS映えするパッケージにより、これまでバタバタ茶に触れる機会の少なかった20~30代の若年層や県外観光客へリーチできる。また、町民が「自慢の手土産」として利用することで、シビックプライド（町への誇り）の醸成に繋がる。

●取組概要に関する参考資料

※提出は任意になります。別途添付ください。

●プロジェクトの取組実施スケジュールの想定（最低でも月単位で記載ください。） \*

- **2026年9月:** 採択決定後、茶葉の微粉末加工テスト、レシピ試作第1弾開始
- **2026年10月:** レシピ試作第2弾、町内の若者や観光客を対象としたブラインドテスト（試食会）の実施
- **2026年11月:** 試食アンケートに基づく味の最終決定、パッケージデザイン案のコンペ
- **2026年12月:** 事務局との中間面談（進捗報告）、パッケージ発注、町内販売店舗との陳列・卸条件の交渉
- **2027年1月:** 初回ロット（1,000個）の製造、SNSアカウントでのティーザー告知開始、販促物（POP・ポスター）作成
- **2027年2月:** 町内3店舗にてテスト販売開始、購買層のデータ収集。事業実績報告書・収支決算書の提出

●活動で想定している必要金額（税別） \*

480,000円

●活動で必要な金額の使途・内訳（項目・数量・単価等）＊

項目	金額	内容、算出根拠等
原材料・試作費	50,000 円	バタバタ茶葉、小麦粉、バター等の食材費、粉末加工テスト費（約 10 回分）
パッケージデザイン費	180,000 円	若年層をターゲットにしたロゴ・個包装・外箱のデザイン委託費（外部デザイナー）
パッケージ・資材印刷費	120,000 円	初回テスト販売用（1,000 個分）の専用化粧箱・個包装フィルム・シール印刷費
初回製造委託費	100,000 円	町内提携菓子店での初回ロット（1,000 個）委託製造加工費
広告宣伝費	30,000 円	店頭用アクリル POP、A4 ポスター（各 3 店舗分）、商品紹介リーフレット印刷費
合計	480,000 円	

※経費内訳は、明細を記入するなどできるだけ詳しく記入してください。

●応募者の類似した過去の取組（経験・実績があれば記入）＊

過去に〇〇県にて、地元農産物を使用した加工品の企画から販売ルート開拓までを一貫して行った経験があります。その際、初年度で〇〇万円の売上を達成し、現在も継続販売されています。食品開発における保健所等の法規制クリアや、原価計算のノウハウを有しています。

●プロジェクト完了後の自走のための計画＊

本プロジェクト（補助金）は、最もハードルの高い「初期のレシピ開発・パッケージ制作」の費用として活用します。2027年2月のテスト販売で得た売上（約30万円を見込む）を、そのまま第2回ロットの製造資金へと回すことで、資金をショートさせることなく自走します。初年度は町内限定販売で希少性を高め、2年目以降はふるさと納税の返礼品登録やオンライン販売へ展開し、事業を拡大・継続させます。

●本取組に関する情報発信や事務局による面談等にご協力いただけますか？＊

はい、協力します

いいえ、協力しません

その他：

### 3.事務局への連絡事項

- 事務局への連絡事項がある場合はお知らせください。

テスト販売の実施にあたり、町内外の人が多く集まる施設（例：ヒスイテラスなど）のスペースの一角をお借りして、PR イベントを実施できないか検討しております。町側のネットワーク等でご相談に乗っていただけますと幸いです。

以上